

北海道胆振東部地震について

1 地震等の概要

本震：平成30年9月6日 午前3時7分

震源地：胆振地方中等部、深さ37km

マグニチュード6.7、最大震度7（厚真町）

2 被害等の状況

・ 人的被害の状況

死者42人

負傷者782人（重症者47人、中等傷8人、軽症727人）

・ 住家被害 全壊469棟、半壊1,630棟、一部損壊12,298棟

・ 住民避難の状況

避難所数 128市町村、768ヶ所

避難者数 累計16,649人

初動対応

時刻	内容
<u>3:07</u>	<u>地震発生</u>
3:38	地域医療課 災害医療担当者 道庁到着
3:42	国DMAT本部を設置、日本DMAT待機要請
<u>3:50</u>	<u>北海道DMAT調整本部を設置</u>
<u>3:52</u>	<u>EMIS(広域災害救急医療情報システム)災害モードに切替</u>
3:53	厚労省へ活動開始を連絡
4:35	苫小牧保健所に道庁の活動を報告(メール)
<u>4:55</u>	<u>災害拠点病院に情報収集依頼を開始</u>
5:51	道保健所へ情報提供依頼、道DMAT調整本部活動開始報告
6:07	東胆振DMAT活動拠点本部の設置要請
6:42	札幌DMAT活動拠点本部の設置要請
6:55	被災情報の確認、活動方針の確認
14:19	東北ブロック DMAT 派遣要請
18:05	DMAT事務局 道庁到着

* 北海道DMAT調整本部の活動記録時間による

在宅酸素療法及び人工呼吸器療法患者への対応

□ 対応状況

① 在宅酸素濃縮器使用患者等の安否確認

- ・ 道において、市町村等と連携し、停電による在宅酸素濃縮器及び人工呼吸器使用の患者の状況を確認
- ・ 在宅療法に係る機器を製造販売している医療機器メーカーと連携し、患者に係る安否やバッテリー及び酸素ボンベ等の供給状況等を確認

② 医療機器メーカー等への要請

- ・ 今後の余震発生等に備え、医療機器メーカー等へ在宅患者の安全確保等について医療機関と十分に連携し対応されるよう要請

□ 今後の対応

医療機関や医療機器メーカー等の関係者と連携し、バッテリーなどの非常用電源の確保など対応状況を確認するなど、停電時における連絡体制等について意見交換を行い、患者の方々への必要な周知等を図る

人工透析患者への対応

□ 対応状況

- ・ 災害発生後、被災した医療機関からの要請や受入が可能な医療機関からの情報に基づき、透析医会等と連携して、患者の受入調整等を実施

□ 今後の対応

- ・ 透析医会等と連携し、今後とも必要な体制を確保